

用語解説 次世代人材投資交付金：次世代を担う農業者となることを志向する者に対して交付される資金。
農福連携：障害者等の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組。



新規就農者に対するサポート等を尋ねる

答 年間150万円を3組に交付

経済環境部長

議員 当市の農業の現状を尋ねる。
経済環境部長 常総市において農業者の高齢化や後継者不足により農業者の減少が続ぎ、今後更なる農業生産力の低下が懸念されている。次世代の農業を支える担い手の確保が急務となっている。

議員 当市の今後の農業の可能性について行政の考えを尋ねる。

経済環境部長

当市は肥沃な農地を有し、首都圏に近く、圏央道の整備により大消費地と直結するなど、地理的条件に恵まれている。常総インター周辺整備事業を、農業を生かしたまちづくりの核とし、その効果を市全体の農業の活性化に波及させたい。

議員

現在、市内で新規就農を考えている方に対して、また県外・市外からという方も含めた方に対するサポート等を尋ねる。



当市の議員のなり手不足に対する改善策について伺う

答 国の動向を注視していきたい

議員

茨城県には44市町村あるが、前々回の市町村議会議員選挙は大洗町だけが無投票だったが、前回の選挙は5地区が無投票であった。当市も無投票となった。人口の減少等もあるし、若い人の議員のなり手が少ないという話も聞く。そこで、現在の石下と水海道の有権者数及び議員1人当たりの有権者数を伺う。

総務部長

6月1日現在における当市の有権者数は、5万552人で、水海道地区が3万1949人、石下地区が1万8603人。議員数は水海道地区16名、石下地区4名となっている。有権者の比率は、水海道が63%、石下が37%なので、議員定数の22に換算すると水海道地区が14人、石下地区が8人ということになる。

議員

なぜこのように地方議員のなり手不足の問題が急速に進んできているのか。全国的にも問題

となっているような報道もされている。まずは、議員の報酬の問題がある。議員になれば交際費等の支出も多く報酬だけでは生活ができない。また、議員年金が廃止されたことも挙げられる。さらに、兼業行為の問題もある。人口の少ない町では事業者が町のリーダー的存在であることが多く、兼業の制限を受ける議員に立候補するということは地域の損失と捉えられる。行政として何か改善策はないか。

総務部長

総務省のまとめた町村議会のあり方に関する研究会では、①広範な事項が議決対象で専門性が高く拘束時間が長い、②定数が少ない自治体ほど議員の負担が多い、③議員報酬だけでは生計を立てていけない(町村の平均報酬月額28年度で21万3000円)、④兼業禁止、請負禁止の実態的影響が大きい、⑤昼間を中心の議会運営では兼業議員が活動しにくい、⑥就業規則等で兼業が困難な場合がある、以上6点が要因とされている。

関 優嗣 議員

中村 安雄 議員

用語解説 町村議員のあり方に関する研究会：小規模な地方自治体における議会のあり方等について具体的に検討する研究会で、大学教授等が委員となっている。